

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイリーライフ南蔵王		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 31日		～ 2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外部講師による知育ヨガ、リトミック、職員によるダンス、有償ボランティアによるレクリエーション、モルック活動など粗大運動を行う事で筋力向上、体幹の安定、姿勢の改善、バランス力向上、情緒の安定、社会性の向上が期待される。	・低学年、高学年、発達特性によるグループ分けを行い、リーダー、サブリーダーが中心となって行う。 ・評価表で振り返りを行い、出来るようになったことを伝え、意欲向上に繋げている。	継続して取り組んでいく中で、活動内容のレベルアップを図る。
2	敷地内に花壇、菜園、土いじりが出来る環境があり、植物や野菜を育てたり土に触れる機会がある。	・季節ごとに花壇、菜園に野菜や花を植え、植物を大切にす気持ち育てる。	・児童が育ててみたい野菜や植物を調べ、買い出し、苗植え、水やりなど主体的に関わる。
3	公園遊び、工場見学、美術館、買い物体験など外出行事を行っている。	・外出行事を通して、視野再生、対人スキル、見通しを持つ力、コミュニケーション力、金銭管理、自己管理、間隔調整、自己コントロール力をつける。	・早期に計画を立て、見学先や買い物場所の確保、開拓を行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・中学生、高校生が活動参加に気持ちが向きにくい。	・低学年の利用児童が増えたため、活動内容を小学の低・中学年に合わせて組んでいる為。	・中学生、高校生を活動のグループリーダー、サブリーダーを担当し役割を持って参加出来るよう取り組む。
2	・施設内のバリアフリーが整備されていない。	・古民家をリノベーションして借りており、玄関に段差がある状態になっている。	・玄関の段差解消に向けてスロープ設置を検討する。
3	・地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	・土曜日は公園遊びで外に出ているが、平日は事業所内での活動が多い為	・近隣の公民館での行事の情報収集に努め、積極的に参加し、地域の子どもと活動する機会を設ける。